

日本心理劇学会 第28回大会 TOKYO2022

明治大学駿河台キャンパス

2022年12月10日(土)・11日(日)

◆ 大会テーマ「サイコドラマとオープンダイアローグ」

いま目の前に起こるそのことが豊かな実りを生み出す
そのための仕組み(構造)と仕掛け(演出)を考え直す

◆ごあいさつ

1980年代なかば、フィンランドの片田舎の町で生まれたオープン・ダイアローグ(以下OD)は、およそ30年して日本に上陸し注目を浴びるようになりました。私がそれを知ったのは、友人の斎藤環君を通じてですが、最初に「これはどこか演劇に似ている…」という印象を持ちました。そのODのやり方は、だいたい次のようなものです。

患者や家族から病院に電話が入ると、受話器を取った者がリーダーになり、治療チームを作って患者の家を訪問する。チームは病院に勤務する医師、看護師、心理師らで構成されるが、全員がODのトレーニングを受けている。訪問先では、患者を中心に家族とチームのメンバー間で対話がなされ、話が一段落したらチームは病院に引き上げる。これを問題が解決するまで毎日続ける。ただし、チームは訪問の前にも後にも打ち合わせをしない。治療に関することは、患者のいないところで決めてはいけないというルールがあるのだ。

OD誕生の地、ケロプダス病院では、この方法によって統合失調症患者の入院率、薬物使用量、病気の再発率を大幅に引き下げたというから驚きです。薬物療法が必須とされているこの疾患を対話の力で治すことに成功したのです。

私は、遠い北欧の地のどこか知らない家の中で日々繰り返されるODの光景を想像し、「これは演劇だ、いや心理劇と呼んでもよい！」と思いました。家庭を舞台にして患者を主役に行われる即興の対話劇、演者と観客はそこに集うメンバー全員、問題が解決するまでのロングラン公演。魅力的なのは、その場に監督がいないことです。あるのは、話す・聴く、観る・観られるの関係だけです。実際の演劇も舞台に演出家は姿を見せませんが、稽古の場における彼の権力は絶大です。これに対し、ODの場合はチームのメンバーがすべて平等で、みなが同じ方法にのっとり、等しく結果に責任を負います。そこには、医者が決める治療方針も監督の思い描く筋書きもありません。たとえば、こんなところにも、私は心理劇の未来を見る思いがするのです。

今大会では、「いま目の前に起こるそのことが、われわれの営みにやがて豊かな実りをもたらす」という大きなテーマを掲げ、初日の午後のプログラムを企画しました。ウォーミングアップに斎藤環教授の特別講演、ドラマ「波動論マシンの秘密」はODの経験のある臨床家たちをキャストした半即興劇、そのあとで出演者と観客によるシェアリングという構成です。2日めのワークショップ発表、口頭発表は、例年通り会員のみなさんの活躍の場です。大勢のご参加を、実行委員一同、ここ神田駿河台にてお待ちしております。

1. 会 期 2022年12月10日(土)・11日(日)

2. 会 場 明治大学 駿河台キャンパス アカデミーコモン・リバティタワー
<所在地> 〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1
<アクセス> JR中央線・総武線「御茶ノ水駅」御茶ノ水橋出口より徒歩5分
東京メトロ丸の内線「御茶ノ水駅」1番出口より徒歩8分
東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B1出口より徒歩8分
都営三田線・新宿線・東京メトロ半蔵門線「神保町駅」A5出口より徒歩10分

3. プログラム

【1日目】

- ① 特別講演 「シナリオ」と「プロセス」 斎藤 環 (筑波大学)
- ② 大会企画 第1部 ドラマ オープンダイアログ劇 「波動論マシンの秘密」
- ③ 大会企画 第2部 シェアリング 「サイコドラマとオープンダイアログ」
登壇者 岡嶋 一郎 (西九州大学)
土屋 明美 (東京薬科大学)
時田 学 (日本大学)
諸江 健二 (アンジェ心療クリニック)
ファシリテーター 佐藤 豊 (防衛医科大学校)

【2日目】

<大会プログラム>

- ① ワークショップ発表 ※ 6月6日(月)より、企画募集開始
- ② 口頭発表 ※ 6月6日(月)より、演題募集開始
- ③ 大会長講演 「サイコの知とドラマの血」 山登 敬之 (明治大学)
- ④ 大会企画ワークショップ 「揺らぎ続けられること〜リフレクティングとサイコドラマ」
佐藤 豊 (防衛医科大学校)

<公開講座>

子どものための演劇ワークショップ

- 一般のお子さんを対象とした演劇ワークショップです。
- 演劇ワークショップへの事前申込者(小学生/定員30名)と、その保護者が無料で参加可能です。
- 大会参加者もオブザーバーとして見学が可能です。
- 申込方法は、2号通信にてお知らせします。

【懇親会について】

感染症拡大防止のため、大学内での飲食を伴う懇親会の開催は予定しておりません。

4. 日 程

	9:00	10:00	11:00	12:30~	13:00	14:00	14:15	15:15	15:30	17:30
12月10日				受付	開 会 式	特別講演 (13:10~ 14:00)	大会企画 (第1部)		大会企画 (第2部)	
土			理事会 (11:00~12:50)							

	9:00	9:30	~ 11:20	11:30	12:30	13:20	14:20	14:30	15:30	15:45	17:15
12月11日	ワークショップ発表		口頭発表		昼 休 み	総 会		大会長講演		大会企画 ワークショップ	
日		子どもの演劇ワークショップ (公開講座)									

※公開講座は一般公開予定です。

5. 参加申込について

参 加 資 格：心理劇に関心をもち、対人援助活動に携わっていること。

大会参加費：

会 員 ・ 準会員	事前申込 7,000 円 (当日参加 8,000 円)
非会員	事前申込 8,000 円 (当日参加 9,000 円)
学 生(学部および修士)	事前申込 5,000 円 (当日参加 6,000 円)
非会員(12月10日のみ参加)	事前申込 4,000 円 (当日参加 5,000 円)

- 事前登録開始は、9月初旬を予定しています。
- 会員・非会員ともに、大会ホームページから事前登録を行い、指定の口座に参加費をお振込みください。事務局での振込確認をもって、登録完了となります。
- 宿泊・昼食等は、各自でご準備ください。

6. 口頭発表・ワークショップ発表の募集

口 頭 発 表：1演題 25分(発表15分+質疑応答10分)

ワークショップ発表：1企画 140分(発表の目的を明確にし、必ず質疑応答の時間をとること)

- 発表を希望される方は、大会ホームページよりダウンロードした申込用紙に、下記必要事項をご記入のうえ、大会事務局までメールにてお申し込みください。
- お申込みの際は、倫理的配慮および不正防止の観点に留意し、学会誌に掲載されている倫理要綱に則って発表概要をご執筆ください。

大会ホームページ：<https://psychodrama28.info/>

申 込 先：jpa28tokyo@gmail.com

必 要 事 項：発表者名/会員番号/ご所属/ご連絡先/演題名/発表概要(350字以内)など

申 込 開 始：2022年6月 6日(月)

申 込 締 切：2022年7月29日(金) 必着

7. 発表者の条件について

本大会での発表者および共同発表者は、学会員であることが条件となっています。発表を希望される方でまだ学会員になっていない方は、入会手続きを行ってください。

8. 本学会への入会手続きについて

入会手続きには、会員1名の推薦と、常任理事会での承認が必要です。入会申込書を下記の学会事務局に請求するか、心理劇学会ホームページからダウンロードして、必要事項をご記入のうえ、日本心理劇学会事務局までお申し込みください。

日本心理劇学会事務局 : 〒355-0023 埼玉県東松山市六反町8-6 (事務局長:小笠原美江)
学会ホームページ : <http://www.psychodrama.jp/>

9. 留意事項

- 感染症拡大に伴う、大学の感染対策レベル引き上げ等の事情により、開催方法、プログラム内容等に変更が生じる可能性があります。
- 研修委員会主催の研修は、12月9日(金)17:30~20:30、12月10日(土)9:00~11:00を予定しております。詳細は別途、研修委員会よりご連絡致します。

10. 今後の予定

- 2020年 6月初旬 大会公式ホームページ開設
- 2022年 9月中旬 2号通信送付
- 2022年11月下旬 抄録集送付

11. 問い合わせ先

大会に関するお問い合わせは、メールにてお願いします。

日本心理劇学会 第28回大会 事務局 : 明治大学心理臨床センター内
事務局 E-mail : jpa28tokyo@gmail.com